

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【公開番号】特開2010-201677(P2010-201677A)

【公開日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-037

【出願番号】特願2009-47664(P2009-47664)

【国際特許分類】

B 4 1 J 11/02 (2006.01)

F 0 4 D 29/44 (2006.01)

F 0 4 D 25/08 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 29/377 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 11/02

F 0 4 D 29/44 F

F 0 4 D 25/08 3 0 2 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 29/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月27日(2012.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第1水平方向に沿って延びる回転中心軸線で回転する羽根、吸引部と接続される吸引口、及び前記第1水平方向と直交する第2水平方向に向かって開口する排気口を有し、前記吸引部で吸気を行う遠心ファンと、

前記遠心ファンの前記排気口に接続されて、前記排気口から前記遠心ファンの前記羽根の回転方向に湾曲する排気流路と、を有していることを特徴とするプリンター。

【請求項 2】

前記排気流路は、前記遠心ファンの前記排気口に接続された吸気側開口、及び前記遠心ファンの前記排気口と反対方向を向いた排気側開口を有する排気ダクトである請求項 1 に記載のプリンター。

【請求項 3】

前記遠心ファンが取り付けられているプリンター本体フレームと、前記プリンター本体フレーム内に形成されたロール紙収納部と、前記吸引部を備える吸引ブラテンと、前記プリンター本体フレームに開閉可能に取り付けられており、前記吸引ブラテンを搭載し、前記ロール紙収納部を開閉する開閉蓋と、

前記遠心ファンの前記吸引口を前記吸引ブラテンの前記吸引部に対し、接続及び切り離し可能な吸気流路と、を有している請求項 1 または 2 に記載のプリンター。

【請求項 4】

前記吸気流路は、吸気ダクトを含んでおり、前記開閉蓋を開くと、前記吸気ダクトは前記吸引部から切り離される請求項 3 に記載の

プリンター。

【請求項 5】

インクジェット印刷ヘッドを備える請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載のプリンター。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記の課題を解決するために、本発明のプリンターは、第1水平方向に沿って延びる回転中心軸線で回転する羽根、吸引部と接続される吸引口、及び前記第1水平方向と直交する第2水平方向に向かって開口する排気口を有し、前記吸引部で吸気を行う遠心ファンと

、
前記遠心ファンの前記排気口に接続されて、前記排気口から前記遠心ファンの前記羽根の回転方向に湾曲する排気流路と、を有していることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

この場合において、プリンターからの排気を、装置の下側から行うようにするためには、前記遠心ファンは、前記羽根の回転中心軸線が第1水平方向に沿って延びており、前記排気口が前記第1水平方向と直交する第2水平方向に向かって開口するように配設されており、前記排気流路は、前記遠心ファンの前記排気口に接続された吸気側開口、及び前記遠心ファンの前記排気口と反対方向を向いた排気側開口を有する排気ダクトで構成すればよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明において、前記遠心ファンが取り付けられているプリンター本体フレームと、前記プリンター本体フレームに形成されたロール紙収納部と、前記吸引部を備える吸引プラテンと、前記ロール紙収納部を開閉するために前記プリンター本体フレームに開閉可能に取り付けられており、前記吸引プラテンを搭載し、前記ロール紙収納部を開閉する開閉蓋と、前記遠心ファンの前記吸引口を前記吸引プラテンの前記吸引部に対し、接続及び切り離し可能な吸気流路と、を有していることが望ましい。このようにすれば、吸引プラテンが開閉蓋の開閉に伴って移動するような場合でも、吸気流路を、開閉蓋が閉じている状態における吸引プラテンの吸引部と遠心ファンの吸引口の間の距離に対応する長さに構成することができる。すなわち、吸気流路をプリンター本体内に短く構成することができるので、吸気流路の流路抵抗を低減できる。この結果、遠心ファンの吸引効率を向上させることができる。